

大井幼稚園の教育目標

げんきなこ
やさしいこ
かんがえるこ

6月 おおいようちえんでの 遊びをご紹介します ♡

幼児期に育てたい10の姿

- ① 健康な心と体 ② 自立心 ③ 協同性
- ④ 道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤ 社会生活との関わり ⑥ 思考力の芽生え
- ⑦ 自然との関わり・生命尊重
- ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ⑨ 言葉による伝え合い ⑩ 豊かな感性と表現

①④⑧⑨の姿に期待！

今月の遊びを通してこんな姿=
力が育っています！！

☆自然物とのふれあい

これから
植えるよ！



副園長先生から植え方を聞いています！みんな真剣



お米がおいしくできますように！！



パティシエみたい！
石けんでクリームを
作ってケーキ作り

おろし金で石けんを削ってボールにいれ泡作りやクリーム作りに挑戦中！水の分量やせっけんの分量で泡になったりクリームになったり！きめ細かいクリーム作りは、難しいのです！繰り返し遊ぶ中でいろいろな発見をしています。「あ～なかなかふわふわにならないな」なめらかなピンとツノの立つクリーム作りのために子ども達の試行錯誤が始まりました！！自分で何度も試したり、成功しているお友達の姿を見たり、聞いたりしながらまだまだ石けん遊びは7月につながります！



6月わらいみんな達成できたかな！

☆6がつのわらい☆

- ・先生と一緒に自分の好きな遊びを見つけて楽しむ。
- ・身の回りの簡単なことを先生に声を掛けられながら、自分でしようとする。
- ・身近な自然の様子に興味をもつ

- ・自分の楽しい遊びを見つけて、先生や友達と一緒に遊ぶ。
- ・身近な自然を見たり、ふれたりしながら興味をもってかかわる。

- ・気の合う友達と考えを出し合いながら遊びを進めていく。
- ・自分なりにめあてをもって、試したり工夫をしたりしながら遊ぶ楽しさを味わう。
- ・梅雨期の自然にふれ、興味・関心をもってかかわる。

大きくなったかな



ついにでできたよ～！ツマグロヒョウモン



げんきでね～



黒にオレンジ色のトゲトゲちよっぴり毒々しい？姿のツマグロヒョウモンの幼虫。毛虫と間違えて害虫駆除してしまいそうになりますが、実はきれいな蝶々に変身します！終わりのパンジーのお花にいっぱい小さい赤ちゃんが次々生まれていました。ツマグロヒョウモンはパンジーやピオラが大好き。プランターは夏花に植え替えをする時期で、「餌となるパンジーが少なくて大きくなるか心配でした。黄組さんがそれぞれ自分のお気に入りの大きさのツマグロヒョウモンの幼虫(小さい幼虫は2cm程。大きいのは5cmくらい)を飼育ケースに入れ、毎日餌となるパンジーをあげて幼虫の様子を見守りました。大きい幼虫はあっという間に飼育ケースの上にかか逆さまにぶらさがり、蛹になる準備に。「動かなくなったね。何してるんだろう」次の日登園してくると、とげとげだった幼虫が茶色でのびかびかの金色の模様のある硬い蛹にすっかり姿を変えてびっくり！掲示していた写真と同じように幼虫から蛹に変身するときにとげとげの皮を脱ぐこと。蛹に変身してぶら下がっている下には、必ずくしゃっとしたトゲトゲの皮の塊があることを見て『わぁ、ほんとに自分で脱ぐんだね』と感心していました。「茶色の蛹がだんだん黒になってきたね」「だいが(幼虫)大きくなってきたね。もう蛹になるかな」毎日毎日蛹の様子をみていると、細かい変化にも気付けるようになりました。登園後、朝の遊びが終わった時、ランチルームに行く前、帰る時など一日の中でも度々ツマグロヒョウモンの姿を見る子ども達の姿がありました。「え～！蝶々になってるよ！」初めて1匹目が蛹から出てきているのを発見した子はびっくり！みんなに大きな声でお知らせしていました！「いつ蝶々になったんだろうね」「まだ動かないね」「殻が割れてるね」「みなかったな」変身する過程をみてきた黄組さんならではの言葉の数々でした。「どこから蝶々がきたの？」桃組さんにとっては、とげとげの幼虫が蝶々に変身するのは本当に驚きで、全く別の生き物のような気がしたのでしょうか。捕まえた時の幼虫の大きさが違っていたので、1匹ずつ羽化していく時期はずれていて、最後の一番小さかった幼虫が無事蛹になったとき「パンジーが足りてよかったね」ホッとした黄組さん。「蝶々になるといいね」最後の1匹が無事蝶々になるのを心待ちにしていたようです。黄組さんがお世話をしている様子を見ていた赤組さん。「蝶々になってたよ！」給食を食べ終えてランチルームから赤組のお部屋に戻る時、赤組さんが発見しました。蝶々になっていく様子を見ていたので、最後の蛹がいつ蝶々に変身するのか赤組さんも興味津々。蝶々になったのを一番に見つけてみんなに報告できて大喜びでした。

「元気だね～！」青空にげんきいっぱい大きな花を広げて裏山へととんでいくツマグロヒョウモンを、みんなで手を振って見送りました！園庭にたまたま飛んできるとツマグロヒョウモンを見つると「おかえり～」となんと可愛い声をかける子どもたちなのでした。身近な自然物の命の誕生と旅立ち。心に響く体験となっていたら嬉しいですね。